

★8月に入会式が行われたクラブ

京都洛中クラブ 3名、京都ウェルクラブ 1名、大阪センテニアルクラブ 1名、大阪西クラブ 1名、京都グローバルクラブ 2名、京都ウエストクラブ 1名、京都めいふるクラブ 2名、京都エイブルクラブ 4名

★9月に入会式が行われたクラブ

京都トップスクラブ 1名、岡山クラブ 2名、神戸ポートクラブ 1名、京都パレスクラブ 4名、

★10月に入会式が行われたクラブ (10/26時点)

京都ブラッククラブ 2名、大阪茨木クラブ 2名、神戸クラブ 4名、熊本ジェーンズクラブ 1名、岡山クラブ 1名、京都エイブルクラブ 3名、京都パレスクラブ 2名、

★今後に入会式が行われる予定のクラブ (10/26時点)

京都めいふるクラブ 1名、宝塚クラブ 1名、京都トップスクラブ 1名、近江八幡クラブ 1名

新たにメンバーとなられた皆様、

また、新たなメンバーを迎えられたクラブの皆様、

おめでとうございます。

8月5日(土)(京都洛中クラブ合同)
京都ウェルクラブ 1名入会式

8月5日(土)(京都ウェルクラブ合同)
京都洛中クラブ 3名入会式



8月10日(木)(大阪西クラブ合同)
大阪センテニアルクラブ 1名入会式

8月10日(木)(大阪センテニアルクラブ合同)
大阪西クラブ 1名入会式



8月28日(月)
京都めいふるクラブ 2名入会式



8月24日(木)
京都ウエストクラブ 1名入会式



9月19日(火)
岡山クラブ 2名入会式



8月29日(火)
京都エイブルクラブ 4名入会式



9月27日(水)
神戸ポートクラブ 1名入会式



9月27日(水)
京都パレスクラブ 4名入会式



10月10日(火)
神戸クラブ 4名入会式



10月24日(火)
京都エイブルクラブ 3名入会式



10月10日(火)
大阪茨木クラブ 1名入会式



10月17日(火)
岡山クラブ 1名入会式



10月25日(水)
京都パレスクラブ 2名入会式



写真は、訪問した入会式の外、報告や提供頂いたものを使用しております。間に合わなかったクラブや掲載できなかったクラブの方々、申し訳ございません。また、報告や提供をお待ちしております。

★九州部 部会 9月2日(土) ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ にて



『今こそ動き出そう 九州から風を』

中西賢一部長主題をテーマのもとに開会、カリリズムリサさんのアートフォーマーが行われ、最初は九州の地図、それがどんどん変化していき第42回を祝う躍動感のある白鳩に。

第一部の式典は、15クラブのバナーセレモニーから始まり、AYCに九州部内から参加された2名からの報告も行われました。

第二部は、『日本の古民家から学ぶ循環型建築社会』として、古民家再生協会熊本の村田智仁代表理事から記念講演がありました。

第三部懇親会のオープニングは、鹿児島YMCA

チアダンスチームのパフォーマンスがあり、参加者も一緒に体を動かし、笑顔になることができました。

ユースやYMCAと共に、幅広い世代間の交流が盛んに行われていると感じさせられた九州部部会、120名を超える参加者と楽しい時間を過ごす中、私は翌日のEMC活動の準備や資料作成の為に、中座して最終の京都方面新幹線で帰路に就くことになりました。出来ることなら後会にも参加して、話のできる一部の方とでも個別にメンバーとEMC活動の現状について話し合いたかったです。

7月1日のEMCシンポジウム後の懇親会に都合悪く参加されなかった岩本守弘EMC事業主査とは又もや語り合う機会がありませんでしたが、これからも九州部の積極的でアツい各クラブが活発なEMC事業活動を牽引し、継続されていきますよう期待しております。この九州部のアツさは、2025年のアジア太平洋地域大会まで続くことになりそうですね。九州部の皆様は、多くの感動や気付きをエリアに与えることができていると思っています。とても楽しみで仕方がないです。

★びわこ部EMCシンポジウム 9月3日(日) G-NETしがにて



20名を超えるメンバーが参加されました。渡壁十郎部長は、熊本の帰路から直行されたとのこと。



シンポジウムの趣旨説明と今年度の活動計画が伝えられ、EMCのディスカッションへと進みました。



岡村遍導EMC事業主査が司会を担当、「やばいぞ！びわこ部！今！出来ること！考えよう！」とのテーマのもと、松岡義隆ワイズがディスカッションのプロローグ、参加メンバーの話を伺っていくことになりました。各クラブは、其々の成り立ち・歴史も違い、抱える課題も様々な中、もっとメンバーを増やしたいとの気持ちは皆同じ…各クラブで「これなら出来る！」の内容を発表されていくのですが、さらに議論を深めるにはスクール形式の座席や施設の厳密な利用時間制限が壁になり、また、比較的時間が自由でクラブや個人に対して個別に話し合いができる懇親会などの機会が無かったことが、少し心残りでした。EMC活動での会員増強にもっと直接的に関わり、力を注いでいくことが、他事業やワイズダム発展に寄与することになります。これからも部が掲げる「びわ湖ネックレス構想」を継続し、力をつけようとしている高島クラブへのサポートなどの重要性が改めて認識された機会にもなりました。

びわこ部の皆様へ、招請頂き感謝を申し上げますと共に、今後の更なる発展を祈念しております。

★阪和部 部会 9月9日(土) 和歌山YMCA にて



『継承そして新たなる創造〜次の100年の礎を』
内藤陽介部長主題をテーマのもとに開会。
第一部の式典は、7クラブのバナーセレモニーから始まり、後半では、各事業主任からの事業報告の時間が設けられており、EMC事業としては、現時点迄の会員異動報告書に基づき、入会式の報告やクラブ・部・区における会員数の一覧、顕著な増加率を示しているクラブの紹介を行うと伴に、当月の強調月間である【EMC YES】へのご理解とご協力をお願いしました。
Yサ・ユース事業では、AYCに阪和部から参加された1名から報告も行われました。

第二部では、会食・懇談の時間をもった後、『あたたかい小さな手のリレー』として、山崎浩敬氏より絵本『バスが来ましたよ』が発刊に至るまでの自身の体験について記念講演がされ、ゲスト含め90名を超える充実した時間は、あっという間に閉会となりました。

閉会後は、部内での会議行われていましたが、会議が終わるのを待ち、丹吾礼中西部EMC事業主査と高井亮吉阪和部EMC事業主査と内藤陽介阪和部部長とも一緒に、次週予定の阪和部・中西部合同EMCシンポジウムの打合せに参加させて頂くことができました。明確な役割分担、如何に盛り上がりと気付きをメンバーに再確認して頂くか、また、合同で行う意義を考慮した内容を盛り込みながら、進められていきました。打合せが終わり、和歌山に宿泊予定の中西賢一九州部部長を含め、阪和部・中西部メンバーにお付き合いいただき、親睦しながらの会食の機会を得ることができました。部会が終わって直ぐのお疲れところ感謝申し上げます。

★阪和部・中西部合同EMCシンポジウム 9月16日(土) 大阪YMCA、プロント大阪堂島店にて



90名近い参加者、内藤陽介阪和部部長の点鐘で開会。鳥居翠ワイズの水平思考オリエンテーション。



グループには、YMCA職員、各地のYMCA現役リーダー・OB・OGも複数名配置されていました。



高井亮吉阪和部EMC事業主査が司会、丹吾礼中西部EMC事業主査がしっかりとサポート、内藤陽介阪和部部長もトークとマイク廻し、万全な体制でディスカッションのプログラムが進行。テーマ①は「ワイズとは、リーダーとは」、テーマ②は「ワイズとリーダーの魅力って」・・・テーブルでディスカッションし、代表となったリーダー達が発表されました。改めて、ワイズメンとYMCAリーダー相互が発信し、互いを認識し合う良い機会となりました。そして、テーマ③は「それぞれの仲間を増やすには」・・・EMCの根幹となる会員増強についての議論。若い世代から多く聞かれた言葉、それは、SNS・デジタルでの情報発信の活用であり、もはや必須だと。仲間を増やすには、時代に即した広報ツールの活用で認知度を上げ、知ってもらう・体験してもらう機会に繋げることであると。EMC事業の活性化、ワイズダムの発展に結びつけるためにも対応が重要。石津雅人中西部部長の点鐘で閉会し、楽しい懇親会場へ阪和部・中西部の皆様へ、招請頂き感謝を申し上げますと共に、今後の更なる発展を祈念しております。

★京都部 部会 9月17日(日) ホテルオークラ京都 にて



『仲間を増やそう Make more friends』
武村松一部長主題をテーマのもとに 380 名を超えるメンバーが集まり素晴らしい映像から開会。

第一部の式典は、19 クラブのバナーセレモニーから始まり、武村部長挨拶での「仲間を増やそう」と伝える言葉にも、柔らかな中にも力がこもるものとなっていました。石若義雄京都YMCA新理事長などの来賓祝辞の後には、表彰式が行われました。昨年度における澤田長利ワイズと林壽一ワイズへの個人ブースター賞の国際表彰が、田上正直前理事を通して行われました。今年度も既に数名のブースター候補者がおられます。部長の願いと共に、さらに多くの仲間を増やすことで、国際へ申請する事ができ、来年に受賞をお祝い出来ればと願うばかりです。

第二部は、『全京都ディスカッション大会』として、各クラブ会長が壇上で着席し、各テーマに沿って、自クラブ事例発表やアピールが行われました。テーマは、「こんなワイズは嫌だ どんなワイズ」の大喜利から始まり、「リトリートセンター」「評判の悪かった例会」「メンバーを増やすには」「YMCAリーダーの増強の取り組み方法」「地域奉仕」「YMCA」など色々取り上げられました。ワイズメンが改めて問い直し、常に意識することを促していく、これらのテーマで意見交換頂いた事をEMC事業主任としても、とても有難く感じており、500 名を超える京都部には感謝しております。

第三部懇親会、会食後の part1 ではダブルダッチ『NEWTRAD』が出演、最後の出し物 part2 では、メンバーシップを大切に、部の役員を一人一人紹介し出番を作る『たかじん(武村部長)』の役員バンドの紹介演出がとても素敵に見えました。部会のエンディングは、みんなで肩を組み会場全体で「We are the world」を熱唱して閉会点鐘へと続いていきました。

★中部 部会 9月23日(土) アイリス愛知にて



松本勝部長主題『みんなで参画』のもと 80 名を超えるメンバーが集まりました。

第一部の式典は、5+1 クラブのバナーセレモニーから始まり、深谷聡西日本区理事を輩出されている部として松本部長の挨拶が行われました。

第二部では、ザ・ぼんち里見まさと氏から『戦艦大和と乗組員』の講演がされました。「語り部」八木康夫氏からつなぐ体験談、「語り部」とは昔話や歴史などを現代に語り継いでいる人とされ、通信手段の中で、数少ない対面での手段で素晴らしく思います。

この部会で、渡辺真悟EMC事業主査と対面し、直接お話をする機会を得られて、良かったです。

報告などは容易にメール等で行えること、また、IT環境の進化からオンライン会議なども利用できること、そしてコロナ禍を経験したことにより、直接出会う意義に対する考え方も様々になりました。しかしながら、デバイスで通じ合うことと、直接対面して通じ合うことは全く違い、人の体感では唯一無二であると思っています。未来ではその体感にとっても近い感覚が得られる手段が生まれることも期待しますが、全ての通信手段は、いまだ直接対面する体感を目指しているものでしかありません。

故に、狼煙や手紙、電話から続く通信手段の進化は、それらの便利な機能を有効に使うことで代理可能な部分である情報伝達のみ担っており、そこに発信者の人柄や感情は含めることは難しい。

直接対面することの重要性を謳うことが「ワイズの悪いところ」でもあり、新たな時流に乗る方や新しい世代は訴えるかもしれませんが、それは、直接対面して得られる感覚の重要性への問い、一部の感覚が不必要と解されだしているからなのかもしれません。「でも直接対面したい」と、話す私は、時代の色々な古い感覚で意固地な一部派へまっしぐらなのかと、自問自答する機会にもなりました。

★六甲部EMCシンポジウム 9月30日(土) 神戸倶楽部にて



想定 30 名とお伺いしていたところ登録 50 名を超えたとのことで部屋も変更して開催されました。



同日に予定されている部会前での開催であったことから時間厳守との制約の中、進行となりました。



杉本隆人EMC事業主査の開会宣言、井出浩部長の挨拶でシンポジウムが開催されました。主任と主査の事業方針と計画の確認も早々に、今回のプログラム『ディスカッションアワー』が開始されました。時間的制約もあり、テーマは、①「ワイズメンズクラブとは」②「グループで活動する意味とは」③「メンバー・仲間を増やすには」の順に 3 つに絞って進められました。様々な意見が発表されていく中で③についても、「YMCAと共に」「YMCAを通じて」との枕詞が数多く出ることは当然だとは思いますが、それらは、YMCAサービス・ユース事業でもあります。よりEMCという事業に限った活動を考慮し、ワイズで行われている全ての事業や例会等のクラブ運営にとって、より良い活動・運営をするためにもメンバーを増やし、継承していくためにもEMC活動での会員増強に、もっと直接的に関わり、力を注いでいくことが求められています。メンバーを増やすことは、個人の負担軽減や楽しむゆとりにつながるだけでなく、ワイズダム発展にも寄与することになります。

六甲部の皆様へ、招請頂き感謝を申し上げますと共に、今後の更なる発展を祈念しております。

★六甲部 部会 9月30日(土・祝) 神戸倶楽部 にて



井出浩部長主題『YMCAとのさらなる協働を目指して』のもと100名を超えるメンバーが参集。

第一部の式典は、7クラブのバナーセレモニーから始まり、シナリオ順より遅れてしまいましたが、井出部長の挨拶が行われました。式典の中で、昨年度における大野智恵ワイズの個人ブースター賞への国際表彰が、井出部長を通して行われました。これからは会員増強に尽力されるとのこと、六甲部での理想として、廻りのメンバーも感化されることを願わずにはいませんでした。

第二部の懇親会は、ジャズと言えば神戸、日本のジャズ発祥の地で、また、神戸倶楽部(施設名)とい

うとても歴史と格式ある場所で演奏を聴きながら、普段には経験できない懇親の機会となりました。

アピールタイムの際には、色々な記念や活動のアピールが有る中、一部から「平均年齢」(が高い)や「〇〇で最後」(の大会)などの声も有り、会員増強や継承に重きを置くEMC活動に強く携わる者としては寂しくも感じる事になりました。本心では「何とかしたい」「何とかする」と思っている中での単なるネタなのだと理解しておりますが、「言葉の力」は凄いですよね、何度も発した言葉は潜在意識に擦り込まれていくと言われてます。それは、自身に対しても、そして、聴衆に対しても、です。

会歴の浅いメンバーや年齢の若いメンバーが、これらの言葉を聞いた時に、ワイズに対して如何に感じるかも踏まえ、懐かしむ行為であっても、これからワイズを支えていくかもしれない理想溢れるメンバーへ、ドリームキラー的効果を発して良いなんてことはありません。自身の策はお持ちの筈です。

やはり、自虐的にも聞こえるネタには、続いて理想をプラス。誰もが生き生きと活動できる場を作り、新たな人と出会い、そして、継続していくことが理想的であり、私たちワイズメンは理想主義者です。

★中西部 部会 10月9日(月・祝) 大阪YMCA にて



『常に喜びと感謝の気持ちを持って、すべてを計画し実践していく』石津雅人部長主題のもと、「寄り添いの心」をテーマに100名を超えるメンバーが集まり開会されました。

第一部の式典は、6 クラブのバナーセレモニーから始まりました。パソコン業務に携わられていた石津部長は挨拶で「PC はプログラムで動くが、人との繋がり、相手の想いや考えが重要。相手が何を求めているかを重んじ、隣り人への寄り添いの心が大切。近隣との繋がりが少ない今日、ワイズメンでは人と繋がれる。それが人生にとって大切。」と語られておられました。

第二部は、関西いのちの電話から三橋淳子理事を招いて「50 年に渉る寄り添いの心」として講演がされました。「誰しも弱る時がある。問題を解決する力は、その人、本人が持っている。「死にたい」は「生きたい」、今までの人生を変えたいとの言葉。相談員は、傾聴し、相手の気持ちを感じ取る。」と話されていました。本当に大変な活動だと改めて感じさせられました。また、大々的に支援依頼のアピールができない側面も持っている活動で有るが故に、活動以外での苦勞も感じさせられた講演でした。

第三部は、「Office CUORE」によるミニコンサートで音楽を楽しんだ後には、各種報告等が行われました。丹吾礼EMC事業主査からは新入会会員紹介、出席された新メンバーも登壇され部内への挨拶が行われました。今期は既に5名の入会者が新たに加わり活動されています。入会頂いた皆様にとって、そして、既存メンバーにとっても、互いに学び、磨きあい、人生をより豊かにする場となりますことを願っております。報告は続き、中西部の留学生支援報告、福島真一直前部長のエルマークロウ賞受賞発表での記念盾贈呈や各種報告が行われました。

★びわこ部 部会 10月21日(土) 臨湖、北ビワコホテルグライツェにて



『今こそ「ワイズ」らしい夢を！～びわこ部の存在を取り戻す～』渡壁十郎部長主題のもと、「集え！びわこ源流の地ながはまへ」をテーマに160名を超えるメンバーが集まり開会されました。

第一部の式典は、6クラブのバナーセレモニーから始まり、渡壁部長の挨拶が行われました。びわこ部役員紹介&事業主査報告の時間も設けられ、岡村遍導EMC事業主査からは、EMCシンポジウムの開催したこと、現在の部メンバー80名程で結束力を高め、より良いEMC活動を行い、クラブ設立間もない高島クラブへのサポートも充実していく旨の報告がされました。続く表彰式において、昨年度における

田中浩文ワイズの個人ブースター賞への国際表彰が、田上西日本区直前理事を通して行われましたが、残念ながら田中ワイズは欠席であったため、長浜クラブ松岡ワイズが代理で登壇されました。

第二部では、『災害支援から学ぶボランティアの真髄』を演題に、NGO団体「アジア子どもの夢」代表の川淵映子ワイズ(とやまクラブ)と国際緊急援助隊の医療調整員でもある小田哲也ワイズ(福岡中央クラブ)のお二人をパネリストに招いてスペシャルセミナーが行われました。支援では、何が重要なのか知るだけではダメで、何が出来るかを相互で考えなければならず、送金手段だけではなく、現地に出向き直接必要なものや想いを聞き、対応することが大切であると。ボランティアの在り方と併せて、それら多くの支援の重要性を伝えられました。支援をしていく中での、現地での移り変わりなど、たくさんの経験された内容については、もっと、お話をお伺いしたかったです。

第三部の懇親会は、滋賀県在住のシンガーソングライター松浦陽子さんのプロローグから始まり、ライブも行われ、ワイズの親睦が進む中、楽しいびわこ部部会の締めくくりに後に散会となりました。

